



あいな!!

ホワイトカラー・エグゼンプション 残業代ゼロ制度

残業代横取り額 年収400万円・140万円、700万円・246万円

「8時間労働制」は働く人の宝です

日本では労働基準法ができた1947年の8時間労働制の成立以後、それを取り返そうとする使用者側の反撃があり、さまざまな変形労働時間制度の導入でその規制が緩和されてきました。

しかし、労働者のたたかいで「8時間労働制」は今日まで維持されてきました。それを一気に突き崩そうというのが「ホワイトカラー・エグゼンプション」です。働く人の健康と人間らしい生活をまもるためには労働時間の規制・短縮こそ必要です。

残業代を支払わないのは犯罪です

残業代を法律どおりに支払わない企業がたくさんあります。昨年、労働基準監督署に摘発されただけでも100万円以上の大口で1524企業、年間233億円にも上がっています。法律で決められた労働時間以上に働けば、割増賃金を支払うのは当然です。

残業代ゼロの「ホワイトカラー・エグゼンプション」が導入されると、労働者の生活に深刻な打撃を与えることが改めて浮き彫りになりました。労働運動総合研究（代表理事・牧野富夫日本大学教授）がこのほどおこなったモデル試算で明らかになったものです。（残業代ゼロ・長時間労働ノアの国民世論と運動により、政府は、本法案の今国会への提出を断念）

年収モデル別 残業代の横取り額 (万円)

労働総研試算

年間 残業時間	400万円	500万円	600万円	700万円	800万円	900万円	1,000万円
10	27.6	20.0	26.4	30.8	35.2	39.6	44.0
20	35.2	44.0	52.8	61.6	70.4	79.3	88.1
30	52.8	66.0	79.3	92.5	105.7	118.9	132.1
40	70.4	88.1	105.7	123.3	140.9	158.6	176.2
50	88.1	110.1	132.1	154.2	176.2	198.2	220.2
60	105.7	132.1	158.6	185.0	211.4	237.9	264.3
70	123.3	154.2	185.0	215.8	246.7	277.5	308.4
80	140.9	176.2	211.4	246.7	281.9	317.2	352.4
90	158.6	198.2	237.9	277.5	317.2	356.8	396.5
100	176.2	220.2	264.3	308.4	352.4	396.5	440.5

*年収は、残業代をのぞく月給12カ月と一時金4.8ヶ月分の合計

日立 懇

<発行>2007年2月
<茨城日立地区版>

日立関連労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区三田3-2-20

(電機労働者懇談会気付)

TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595

http://www.hitachikon.net

Eメール info@hitachikon.net

が求められて
います。



派遣・請負にも労働基準法の適用を
派遣だから、パートだから、請負だからと不当な労働条件を押し付けられたり、一方的に解雇されても泣き寝入りしている人たちはたくさんいるのではないのでしょうか。派遣も請負もパートも労働基準法が適用されます。決して「使い捨て」を許してはいけません。同じ仕事をしているのに、非正規雇用だからと賃金は二分の一、三分の一になっていませんか。同じ仕事なら時間当りの賃金は同じ、というのが「均等待遇」です。これはヨーロッパやイロ（国際労働機関）で定められた国際労働基準です。労働法の実効ある改正が求められて



円で約六万六千円不足です。「やっぱり、人並みの老後を送るには60歳以降も働かないのか」とは調査対象者の声。(情制シ)

肩たたかれ退職したのに 自らの意思で「とは」

日立ICCSの07年社長年頭挨拶では、合併一年を振り返ったなかで「昨年には自らの意思で月俸者37名が会社を去り」と述べています。

職場では、「管理職全員に退職肩たたきをしておきながら、自らの意思とはどういうことなんだ」「退職した人が聞いたら、なんとと思うか。やむなく退職した人の気持ちを逆なでするんじゃないの」と怒っています。(日立ICCS)

60歳以降 必要な生活費は?

職場では、45歳以上の総合職二百名に対して、「60歳以降の生活に関する意識調査」が実施されました。生の声を今後の60歳以降の雇用制度に反映させるのが目的とのこと。

配布資料に「60歳以降の生活費」のデータが添付されており、夫婦二人のゆとりある老後生活に必要な金額(希望額)は、三十七万九千円となっています。しかし、日立のモデル者(夫昭和21年生れ、妻、専業主婦)の60歳での年金収入は、厚生年金(比例報酬分)、確定拠出年金、企業年金を合計しても、三十一万二七四九

部長との昼食懇談会 要望に終わらせないで

現場作業者と部長との昼食懇談会があった。将来を考えた人員配置を・クレインの運転免許を取らせて・テスターを買って・出張で出かける時のあいさつ回りの簡素化・部品を早くまとめたなどなど直接の上司には言いづらいこともいっぱいでした。

要望だけに終わらせないでぜひとも実施してほしいものである。こういう懇談会、年に一回は必要だなあと感じた。(旧国分)



衝撃! 感電実験ビデオ

七年前の感電死亡事故にからんでの感電実験ビデオを「安全の日(事故が起きた日に設定)」に視聴した。何度も見ているが衝撃的である。同僚が出張作業で感電しており、決して他人事ではない。(旧国分)

退職者紹介記事 再雇用のこと書くな!

「引き続き同じ職場でがんばる」というようなことを書いてほしかったんだけど、新聞編集担当から「それは載せられない」と言われたんだよね...」というのは、ある職場で定年を迎えた人の言葉です。

退職者紹介は、どこの事業所の新聞でも目を引く記事ですが、このなかで「再雇用で残る」というようなことを書くのと、再雇用の希望が叶えられなかった人に申し訳ない」とかというのが理由のようです。多くの人が希望する形で再雇用されているのであればそんな心配は要らないのでしようが、そうならないという現実を示しているのではないのでしょうか。(情制シ)

会社合併で 企業選挙も混乱

4月の地方選挙、HESはHECとHESCOが合併後初の日立市議選となります。HES労組は「これまでの経過から、日立労組日立支部出身のI氏と旧HECのS氏を基調とした支援体制としました」と言います。しかし、「組織内議員」として推薦を決定していたのはS氏のみだったのですが、日立労組日立支部の「方針」で二名推薦になったということのようです。会社合併で混乱というのは、企業選挙の宿命と言えるのでは。(HES)